



バッティング練習に励む八学光星ナイン。22日午後、大阪府豊中市の豊中ローズ球場

光星 打撃練習余念なく

第98回選抜高校野球大会(センバツ)に出場している本県の八学学院光星ナインは22日、大阪府豊中市の豊中ローズ球場で練習を行った。元気な声が飛び交う終始和やかな雰囲気の中、滋賀学園との2回戦(24日午後2時開始予定)に向け、約2時間汗を流した。【「ヒット」打って仲間を笑顔に20面】シートノックの後、滋賀学園の左腕土田、右腕伴田の2投手を意識した打撃練習やトス打撃に長い

あす2回戦

時間を割いた。選手たちは仲井監督やコーチ陣にスイングの軌道などのアドバイスを受けながら、一球一球丁寧に打ち続けていた。初戦で2安打を放ち、この日も鋭い打球を放っていた3番新谷翔は「初戦が終わり、緊張やプレッシャーはほどけた。次の試合もチームを勝たせるために自分ができる精いっぱいのことをやりたい」と意気込みを語った。(棟方好華、佐藤正悟、千葉慶之)



滋賀学園戦に向けて語る仲井監督

光星・仲井監督

滋賀学園との対戦を2日後に控えた22日、八学光星の仲井宗基監督(55)に相手の印象や意気込みなどを聞いた。

相手の印象は、鍛え上げられたチームだが、やや動きに硬さのあった初戦から一段階調子を上げてくると思う。しっかりと戦う準備をしていきたい。

警戒する選手は、投手の土田君と伴田君

内野陣の堅守に期待

一問一答

を攻略していきたい。上位打線はファーストストライクから積極的に振ってこる印象。

チームの状態は、いつもと変わらない雰囲気。初戦は緊張や硬さもあったが、次戦は自分たちの本来のプレーを取り戻してもらいたい。

活躍を期待する選手は、初戦は内野陣がほぼ全員エラーした。こんなに珍しいことはないし、次も6失策したら負けと思う。守備ではなるべくないよう内野陣に頑張ってもらいたい。

意気込みは、初戦の光星らしい粘り強さを失うことなく戦ってほしい。

(まどめ・棟方好華)